

事業シート（概要説明書）						
事業名	高齢者講座事業		担当部名	環境福祉部		
			担当課名	高齢介護課		
事業開始年度	昭和50年度					
根拠法令等						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理（委託先：講座を運営する団体） <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
事業概要	目的 (何のために)	高齢者に対し、教養、趣味講座の運営を通じて教養等の増進を図るとともに、孤立しがちな高齢者の社会参加を促進すること				
	対象 (誰・何を対象に)	高齢者を対象とする講座の運営を行なう各団体				
	事業内容 (手段、手法など)	各団体に対し事業委託している。(1団体：年32千円)				
	事業の必要性	高齢者が、趣味・教養講座を通して交流することで社会参加ができ、孤独感の解消やうつ予防に役立っている。				
【支出】		H19決算	H20決算	H21決算	H22予算	
事業費（直接経費）		千円	1,440	1,440	1,280	1,120
うち	嘱託職員・ 臨時職員等	従事者数	人			
		概算人件費	千円			
人件費	正規職員 (平均給与750 万円換算)	従事者数	人	0.1	0.1	0.1
		概算人件費	千円	750	750	750
総事業費		千円	2,190	2,190	2,030	1,870
【収入】		H19決算	H20決算	H21決算	H22予算	
国・県からの補助金等		千円				
使用料・手数料		千円				
地方債		千円				
その他（ ）		千円				
【収支】市の負担額（一般財源）		千円	2,190	2,190	2,030	1,870

事業シート（概要説明書）						
		内 容			金 額	
平成22年度 事業費内訳	委託料			1,120	千円	
	-----					千円
	-----					千円
	-----					千円
事業目的達成の ための活動指標	活動指標名	単位	H20年度実績	H21年度実績	H22年度見込	
	利用者数	人	756	743	486	
単位当たりコスト	1,280(千円) / 743(人) = 1,722(円) 【H21年度実績 人件費を除く】					
目指す成果 (今後どのように したいか)	高齢者が趣味・教養講座を通して交流することで、孤独感の解消やうつ予防や社会参加を促進していく。					
事業の 自己評価	事業目的の 達成状況	高齢者の社会参加に成果がある。				
	今後の事業 の方向性 (課題・改善 計画等)	<p>現在、介護予防事業を中心に高齢者福祉施策については、従来の行政主導・住民参加型事業から住民主体・行政支援型事業へシフトを進めているところである。高齢者が集える場についても、住みなれた地域を中心に、高齢者だけでなく各世代が交流できる講座で自主運営を基本とし、それに市が支援していく形態へのシフトを考えている。</p> <p>しかしながら、地域での活動に参加できない人、地域では参加する人が少ない活動に対し、活動の場として当面事業継続していく。</p>				
比較参考値 (他自治体における 類似事業の例など)	津山市社会福祉協議会でふれあいサロン事業に助成を行っている。 (1地区 20,000円) 179ヶ所					
特記事項 (事業の沿革等)	<p>始り：昭和50年度 老人余暇促進事業 6講座 360千円</p> <p>平成17年度までは、岡山県の補助があったが平成18年度から廃止。 以後は、市単独事業として継続。</p> <p>津山市 S50.10.1 国調人口 79,907人 高齢者 8,583人 高齢化率 10.74%</p> <p>S22.10.1 津山市 人口108,123人 高齢者 26,952人 高齢化率 24.93%</p>					